

土砂災害に備えて

梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨、地震が発生したときなどに、急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)・土石流・地すべりなどの土砂災害が発生する危険があります。

このマップは皆さんのが住んでいる地区の中で、土砂災害が発生した場合に被害を受けるおそれのある範囲を示し、皆さんの避難に役立てていただくことを目的として作成したものです。

土砂災害から身を守るために、どんな場所が危険であるかを知り、災害に備えましょう。

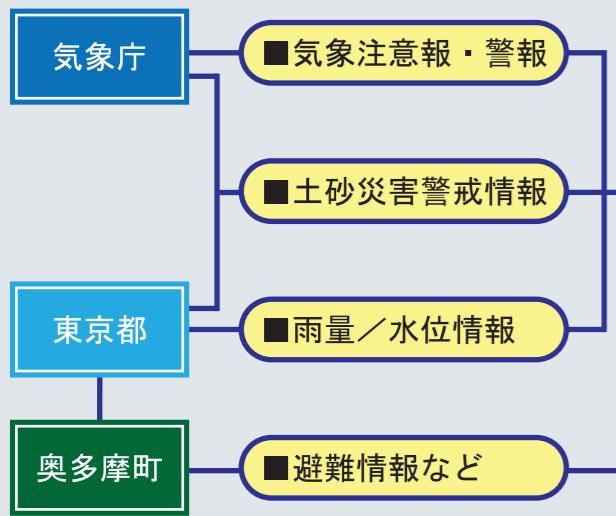
土砂災害警戒区域とは

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。これらの区域では、土砂災害防止法に基づき、土砂災害から住民の生命及び身体を保護し、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。

東京都の調査により、奥多摩町の890箇所(急傾斜地727箇所、土石流153箇所、地すべり10箇所)が指定され、公表されています。

(平成23年3月31日現在)

防災情報の入手先



土砂災害警戒情報とは?

~自ら情報を入手して、自主避難の判断にご活用ください~

大雨警報発表後も雨が降り続き、かけ崩れや土石流の発生する危険度が高まったときに、東京都と気象庁が共同で発表する防災情報です。情報は奥多摩町やテレビ・ラジオ等を通じてお知らせします。対象地域にお住まいの方は、奥多摩町からの避難勧告や避難指示等に従い、避難をしましょう。また、周囲のかけ等の状況に注意し、普段と異なる状況に気がついた場合には、直ちに安全な場所に避難しましょう。

急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)

POINT

一瞬にして崩壊します



雨や雪どけ水、地震などの影響により、斜面が突然崩れ落ちる現象です。

崩れた土砂は、斜面の高さの2～3倍も離れた距離まで届くことがあります。突然起き、速いスピードと強い破壊力のために、大きな被害をもたらします。危険を感じたら、すばやく避難することが大切です。

土石流

POINT

猛スピードでやってきます



山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒に流れ出る現象です。

時速20kmから40kmという速度で、一瞬のうちに辺りの家や畑をつぶして押し流してしまいます。

前兆現象



小石がパラパラ落ちる

斜面に亀裂ができる

斜面から水が湧き出す

前兆現象



山鳴りがする

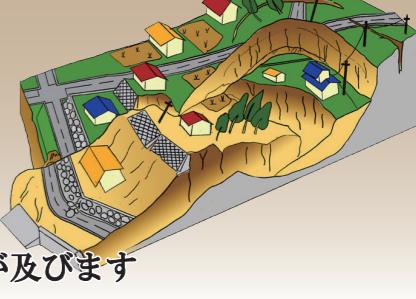
川が濁ったり、流木が流れる

雨が降り続いているのに、川の水位が下がる

地すべり

POINT

広い範囲に被害が及ぼします



山地の斜面をつくる岩石や土壌が、斜面下方へ移動する現象です。

広い範囲で発生するため、住宅や田畠、道路や鉄道などの交通網が一度に被害を受けてしまいます。また、地すべりによってせき止められた川が、決壊して下流に大災害をもたらすこともあります。

前兆現象



地面にひび割れができる

斜面から水が吹き出す

沢や井戸の水が濁る

前兆現象を察知して、早めの避難を心がけましょう。前兆現象を見つけたら、奥多摩町役場や消防署または警察に連絡をしましょう。

テレビ・ラジオ・インターネット

- 気象庁 <http://www.jma.go.jp/>
- 東京都水防災総合情報システム(建設局河川部) <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp>
【携帯版】<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/>
- 川の防災情報(国土交通省) <http://www.river.go.jp/>
【携帯版】<http://i.river.go.jp/>
- 東京アメッシュ(東京都下水道局) <http://tokyo-ame.jwa.or.jp/>

住民のみなさん

QRコード

いざというときの心構え

避難所は決まっていますか?

普段から家族全員で避難所や安全な避難経路を確認しておきましょう。災害時には通れなくなってしまう道もあるので、避難所までの経路は複数検討しましょう。



雨に注意していますか?

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上になつたら注意が必要です。



逃げ方を知っていますか?

土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に、少しでも高い場所へ逃げるようにしましょう。



非常持出品を用意していますか?

非常持出品は事前に準備し定期的に点検しておきましょう。避難時に持ち出すものは必要最小限にしましょう。



避難時の注意事項

火の始末・戸締り



家族にメモを残す



二人以上で行動



忘れ物などを取りに家に帰らない



避難時は助け合おう



逃げ遅れたときは堅牢な建物の2階以上(斜面と反対側の部屋)に避難するなど、生命を守る必要最低限の行動をとりましょう。

お問い合わせ先

奥多摩町 総務課 交通防災係

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川215-6
☎ 0428-83-2111(代)